

毎年楽しめるのがうれしい 球根植物の育て方

チューリップやスイセンなどでお馴染みの球根植物。球根は、生長に必要なエネルギーをいっぱい詰め込んで一斉に花を咲かせます。一年草と同様、比較的生長が早いので育てやすく、花色や花形が豊富で見映えがする花が多いのも特徴。手入れが簡単なのも魅力です。

編集：エフジー武蔵

秋植え

10～11月頃に植えつけた球根が冬に養分や水分を吸収し、翌年の春に開花するタイプの植物を「秋植え球根」といいます。主な植物にチューリップ、ユリ、スイセンなどがあります。

- ①ムスカリ
- ②チューリップ
- ③ユリ
- ⑥スイセン



春植え

4～5月頃に植えつけた球根が夏から秋にかけて開花するタイプの植物を「春植え球根」といいます。主な植物にカンナ、ダリアなどがあります。

- ④カンナ
- ⑤ダリア



年間作業カレンダー

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
秋植え球根	生長期		開花		休眠			植えつけ		生長期		
春植え球根	休眠		植えつけ		生長期			開花		休眠		

掘り上げ

掘り上げ



重くてずっしりしたものを選ぶ

根や茎に養分を蓄えた球根から発芽、生長する草花を球根植物と呼んでいます。種まきでは育てにくいので、園芸店やホームセンターで出回っている球根を購入しましょう。その際、大きくてずっしりと重いものを選ぶことがポイント。小さく縮んでいるものや手で触った時にふかふかとしていて中が腐っているもの、表皮の内側にカビが生えているものなどは、発芽しない可能性があるのを避けましょう。

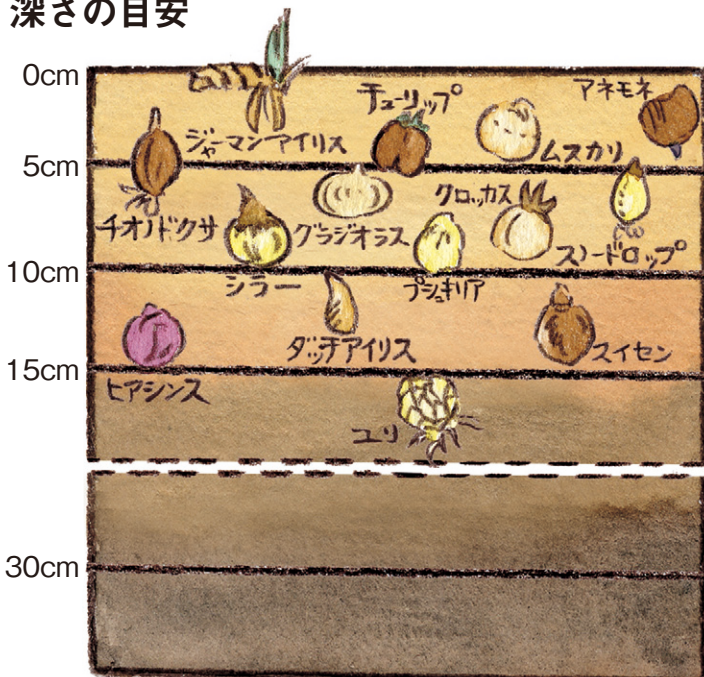
球根は、春に花を咲かせる「秋植え」と夏から秋にかけて花を咲かせる「春植え」があります。秋植えの場合は11月前後が適期ですが、種類によっても異なります。例えば、スイセンは寒くなる前（10月頃）に、チューリップは寒さが感じられるようになった頃（10月以降）に行います。ダリアなどの春植えの場合は、

球根ごとに違う

植えつけの深さと間隔

地植えの場合は球根3個分、鉢植えの場合は2個分の深さの穴を掘って植えます。ただし、ユリは深く植えるので要注意。球根2～3個分の間隔をとって植えつけましょう。

深さの目安



4月前後が適しています。植えつける深さや間隔も種類によって違うので、左の表で確認しましょう。植えつける時は、必ず、芽が出る部分を上にして植えます。一年草のように元肥用の緩効性肥料を土に混ぜておくとういでしょう。また、地植えの場合の水やりは不要。鉢植えの場合だけ、植えつけ後2～3日経ってから水やりを行います。葉が表面が乾いたら水やりを行います。葉で養分を作り、根に蓄え終わった後は葉を枯らして休眠する球根植物。そのまま植えて、貯蔵した方がいい種類があるので、適した方法で管理することが大切です。

地植えの場合



コンテナの場合



地植えする場合は、深さは地面から2個分、間隔は3個分あけます。鉢植えは限られたスペースに植えるため1個分の株間で植えます。

花後も管理し、翌年も楽しむ

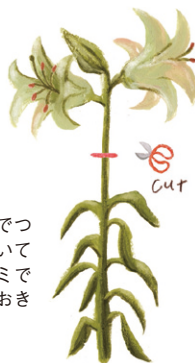
球根は花が終わり、茎や葉が枯れるのを待ってから球根を掘り上げ保存するのが一般的ですが、種類によって方法が異なります。特徴をきちんと把握して行いましょう。

終わった花の茎を切り取る

開花後は、すぐに花茎を切り取ります。放置すると、カビや害虫が発生します。その後、茎や葉が黄色くなるまで残しておくことで、球根は栄養を蓄え、肥大していきます。

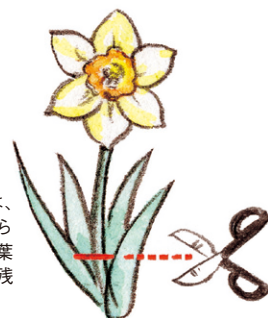
ユリ

ユリは葉が上の部分までついているため、葉がついていない花首の下をハサミで切ります。葉は残しておきます。



その他

ユリとチューリップ以外は、花茎のつけ根の少し上からハサミで切り取ります。葉は光合成をさせるために残しておきます。



追肥で球根の肥大を促す

花が咲き終わると、地下の球根は翌春の開花に向けて、光合成をしながら養分を蓄え始めます。花が終わったタイミングで、速効性のある液体肥料や化成肥料を施し、球根の肥大を促進させてあげましょう。

Column3

一年草のように扱う チューリップ

チューリップはウイルス性の病気にかかりやすく、翌年に充実した花を咲かせることが難しいため、開花後は茎を引っ張って株ごと抜いてしまいましょう。新しい球根を揃えて、新たに植えつけるのが一般的です。



種類別に特徴を把握しよう

秋植えと春植えを代表する5種類の球根の基本データを紹介します。違いをきちんと把握して管理しましょう。

※表の見方

1. 科名
2. 植えつけ期
3. 植えつけの深さ
4. 掘り上げ期
5. 貯蔵法

Dahlia

ダリア

1. キク科
2. 2.3月～5月
3. 球根の3倍
4. 10～11月
5. 湿潤



Tulipa

チューリップ

1. ユリ科
2. 10月～12月
3. 球根の3倍
4. 6月
5. 乾燥



Canna

カンナ

1. カンナ科
2. 4月～5月
3. 球根の3倍
4. 10～11月
5. 湿潤



Narcissus

スイセン

1. ヒガンバナ科
2. 9月～12月
3. 球根の3倍
4. 6月
5. 乾燥

Lilium

ユリ

1. ユリ科
2. 10月
3. 球根の3倍
4. 植えっ放し or 10月
5. 湿潤



掘り上げと保存

葉が半分程枯れてきたら掘り上げの合図。植えっぱなしにできるもの以外は掘り上げて保管します。適期は、秋植えは梅雨前、春植えは初霜がおりる頃が目安。球根を傷つけないように掘り上げは慎重に行いましょう。

種類によって異なる2つの貯蔵法

掘り上げた球根は茎、根、皮を取り除き、土を水で洗い落として陰干しに。乾燥後、チューリップなどは乾燥貯蔵、ユリなどは湿潤貯蔵で保管します。

*乾燥貯蔵

球根が乾燥したら種類別にネットに入れ、風通しのよい涼しい場所で保管します。秋植えのほとんどの球根にこの方法が適しています。

ex. チューリップ、スイセン、ヒヤシンス、クロッカス、ムスカリ、シラー、グラジオラス、アイリス、スノードロップ、アネモネ



*湿潤貯蔵

カンナやダリアなどの春植え球根とユリは、発砲スチロールの箱などにオガクズやパーミキュライトなどを入れ、埋め込んで保存して。

ex. ユリ、ダリア、カンナ

Column 4

芽出し球根とは？

ポットに少量の土を入れて球根を植えつけ、芽を出させた状態のもの。植えつけ場所が確保できていない時などに便利です。ただし、根が折れやすいので土は絶対崩さないように。



据え置き栽培が数年間可能な球根

球根植物には、例えば秋植え、小球根など、そのまま植えっぱなしで土中に据え置きしていいものがあります。ただし、数年経って生長が悪くなった場合には、新たな球根を植えた方が無難な場合もあります。

- ・スイセン
- ・ヒヤシンス
- ・クロッカス
- ・ムスカリ
- ・チオノドクサ
- ・アイリス
- ・グラジオラス
- ・スノードロップ
- ・シラー
- ・プシュキニア
- ・ユリ (植えっぱなし可能な種類)



ムスカリ



スイセン